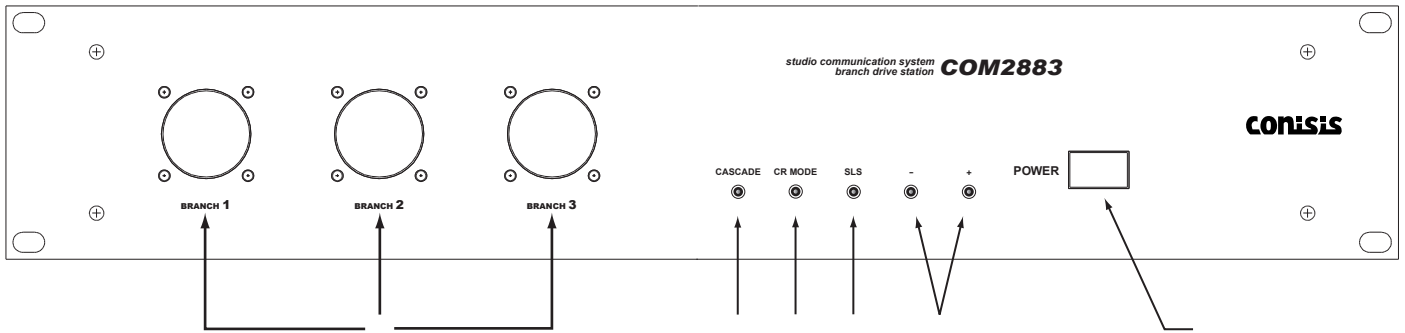




機能説明

POWER SW.

本機の電源スイッチです。

POWER CONDITION LED

本機のパワースイッチを投入すると± LED共に点灯します。もしどちらかのLEDが消えている場合や、明るさのばらつきが大きくある場合は故障の可能性がありますので、ただちに電源スイッチを切りサービスまでご連絡ください。

SLS ON LED

CRユニットCOM2871、2872のSLSスイッチをオンにする事によりこのLEDが点灯、本機からSLS (スタジオラウドスピーカー) を鳴らす為のオーディオ信号 (メインL/R) が出力されます。また、Pro Tool 対応マスターコンソールSMS8101を中心としたシステムでも同じです。

CR MODE LED

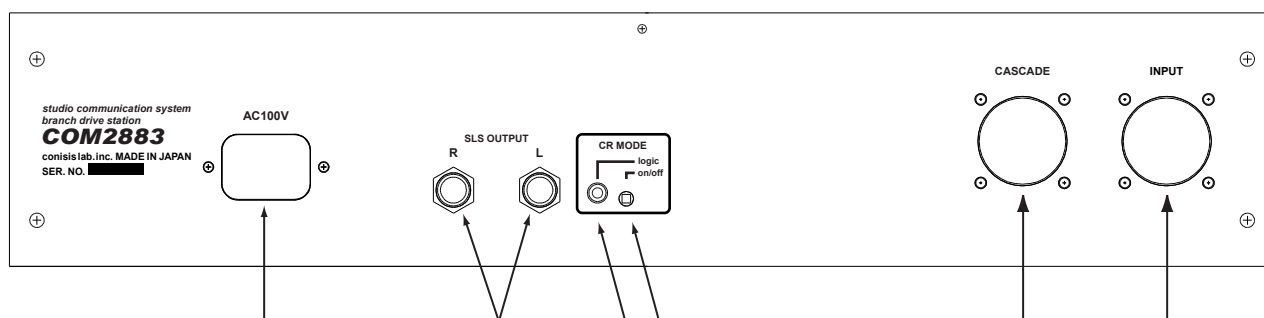
リアパネルのCR MODEスイッチをオンに設定すると点灯します。通常の接続ですとCR MODEに設定する事はありません。詳しくはリアパネルの説明 をお読みください。

CASCADE LED

本機の上にカスケード接続したCOM2883の、電源スイッチがオンになり使用可能になっている時、このLEDが点灯します。

COM .CONNECTOR

ブランチCOM280等に各オーディオ信号や± 電源等を供給する専用コネクタです。3台まで接続できます。ピン配列については別表を参照下さい。



INPUT

本機の INPUTです。CRユニットCOM2871、2872等の DOME STAT ONコネクタと接続します。また、Pro Tools 対応マスターコンソール SMS810を中心とした接続では CUE-SYSコネクタと接続します。

本機のみでシステムを構築される場合は、別表のピン配図を参照してください。

CASCADE

カスケードコネクタです。カスケード先の INPUTと接続して、必要な数だけCOM2883を増設していく事ができます。ここに直接ブランチを接続する事はできません。

SLS OUTPUT

CRユニットCOM2871、2872の SLSスイッチをオンにする事により、このジャックからスタジオラウドスピーカーを鳴らす為のオーディオ信号（メインL/R）が出力されます。また、Pro Tools 対応マスターコンソール SMS810を中心としたシステムでも同じです。負荷 600Ω 以上、+ 4 dBm基準、アンバランス出力。1/4 inch標準プラグをご使用ください。

AC INLET

本機はAC100Vで動作します。また、スイッチングレギュレータの採用により90V～125V範囲内で使用できますが故意に電圧を上げることは機器に負担をかけるばかりか、故障の原因になりますので絶対におやめください。

CR MODE SW.

本機をコントロールルーム内で使用する特殊なシステムの場合の、設定スイッチです。このスイッチをオンにする事で次の機能を本機で使用できなくする事ができます。

- 本機からの SLS OUT、本機に直接接続したブランチの TB機能。

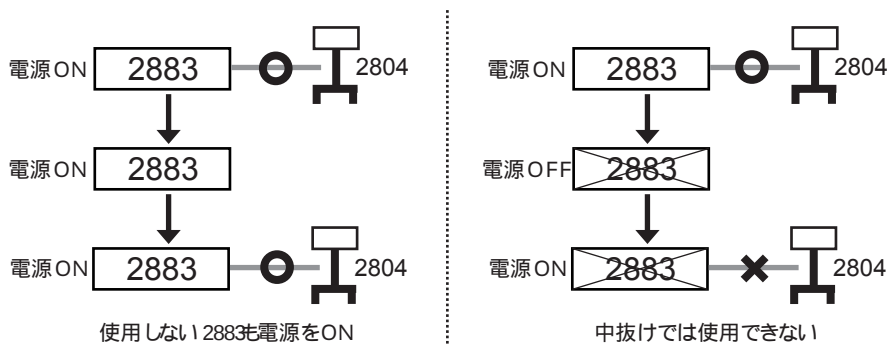
通常の使用ではこのスイッチをオフにし、フロントパネルの CR MODE LEDが点灯しないようにします。

CR MODE LOGIC JACK

Pro Tools 対応マスターシステム SMS810を中心としたシステムを構築する際に、SMS810と接続して本機をCRユニットとして使用するための専用ロジックジャックです。詳しくは SMS810のマニュアルをご覧ください。

補足説明

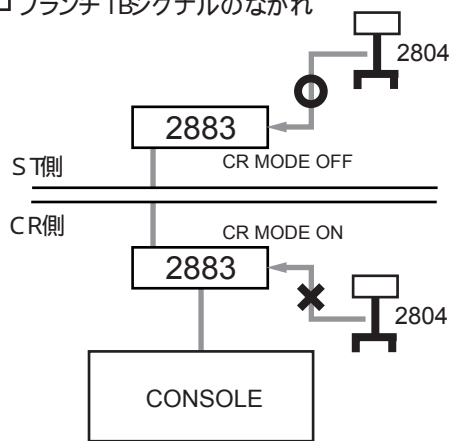
fig. 1 CASCADE接続



CASCADE接続と電源スイッチとの関係

本機を3台、4台とカスケードしてご使用になる場合、カスケードの途中にある2883の電源スイッチも入れてお使いください。左図の様に電源の中抜けがありますと、あとの2883にカスケードされません。ただし、ソース側の1台のみでご使用になる場合はこの限りではありません。

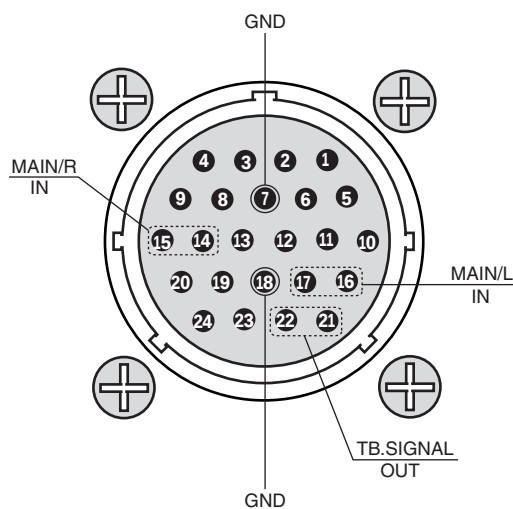
fig. 2 CR MODEでの
ブランチ TB信号のながれ



CR MODEでのブランチ TB

本機のリアパネルにあるCR MODEスイッチをONにすると、その2883に接続したブランチからのTB信号はCUTされます。コントロールルーム内での使用を考え、ハウリングを防止するためです。また左図の様にCR MODEにしないスタジオ側の2883とカスケードした場合、スタジオ側ブランチからのTB信号は通常通り生きてます。

fig. 3 2883のみでコンソールと接続
(2883 INPUT CONNECTOR)



7 18番は全ての共通グラウンドです

CRユニットCOM 2871 2872を使用せず、
本機のみでコンソールと接続する特殊な例

本機のINPUTは通常CRユニットCOM 2871 2872のDRIVE STAT ONコネクタと接続するように設計されていますが、このコネクタに直接オーディオソースを接続する事で、ブランチを使用できるようになります。ただし、SLS OUTやモニターDIMなどの便利な機能は使用できません。

1番から13番までがAUX INPUT、14番から17番がMAIN INPUTです。ブランチからのTB信号は、21 22番とGNDを、お使いのモニターシステム等に立ち上げて聴くことができます。本機のみでシステムを構築される場合は、別表のピン配図を参照してください。

COM2883入力 コネクタ結線表	JAE(24pin) SRCN2A25-24
AUX6 IN (COLD)	1
AUX6 IN (HOT)	2
AUX5 IN (COLD)	3
AUX5 IN (HOT)	4
AUX4 IN (COLD)	5
AUX4 IN (HOT)	6
GND	7
AUX3 IN (COLD)	8
AUX3 IN (HOT)	9
AUX2 IN (COLD)	10
AUX2 IN (HOT)	11
AUX1 IN (COLD)	12
AUX1 IN (HOT)	13
MAIN/R IN (COLD)	14
MAIN/R IN (HOT)	15
MAIN/L IN (COLD)	16
MAIN/L IN (HOT)	17
GND	18
+VCC OUT	19
SLS LOGIC IN	20
TB SIGNAL OUT (COLD)	21
TB SIGNAL OUT (HOT)	22
TB LOGIC IN	23
TB LOGIC OUT	24

***ケーブル製作時の注意**

COM2883入力ケーブルのコネクタは JAE製 SRCN6A25-24S(ケーブル付け / メス) をご使用 ください。

工事には、C/R壁面 SRCN2A25-24P(レセプタクル / オス)、STUD壁面 SRCN2A25-24S(レセプタクル / メス) をご使用下さい。

仕様

オーディオソース入力数	S T E R E O 1 系統 + A U X 6 c h （全入力バランス）
オーディオソース入力基準	+ 4 d B m 、 2 0 K Ω 負荷
入力コネクタ	J A E S R C N 2 A 2 5 - 2 4 P （COM28専用ケーブル用）×1
ブランチ接続コネクタ	J A E S R C N 2 A 2 5 - 2 4 S （COM28専用ケーブル用）×3
カスケード接続コネクタ	J A E S R C N 2 A 2 5 - 2 4 S （COM28専用ケーブル用）×1
S L S 出力ジャック	1 / 4 inch 標準 P h o n e （アンバランス）
C R モードロジックジャック	2 P ミニジャック
ブランチ電源出力	C O M 2 8 0 4 を 3 台 まで ドライブ 可能
外形寸法（突起部を除く）	4 8 3 W × 1 8 6 D × 8 8 H / E I A 2 U
本体重量	3 . 1 k g
電源	A C 1 0 0 V

保証

本機が出荷日より1年以内に故障が発生した場合には、無料にて修理を行う事を約束致します。その場合、出荷日が明記された本書自体が保証書となります。この保証は日本国内においてのみ有効です。

保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。

- 1、使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- 2、お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
- 3、火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）異常電圧、指定外の使用電源等による故障及び損傷
- 4、車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
- 5、本書の提示がない場合
- 6、本書に出荷日が記入されていない場合、或いはこの字句を書き換えられた場合
- 7、本書に販売店印が押されていない場合
- 8、本書のナンバー（SER. NO.）と機器本体のナンバーが一致しない場合
- 9、遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費

無料保証期間内の1年間が過ぎた後も有料にて可能な限り修理を致します。